

キャラクター名

ベルミラ

プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	7
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	ダンサー	性別	女
称号クラス				年齢	秘密（考えてない）
種族	ヒューリン			境遇	秘密
出自 (効果)	犯罪組織			目標	戦い好き

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運		
基本値	9	16	19	8	15	9	9	HP	68
ボーナス	3	5	6	2	5	3	3	MP	62
クラス修正	0	1	2	0	1	1	1	フェイト	5
他修正									
能力値	3	6	8	2	6	4	4		

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ナイフ	至近	0	3	0	0	0	0	0
左手									
頭部	グリーンベレー		1			1			
胴部									
補助									
装身具									
能力値			6	0	8	0	4	14	8
スキル									
その他									
総計(右)			7	3	8	1	4	14	8
総計(左)			7	0					
総計(両)									
ダイス数			3 d	3 d	3 d				m

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数	所持品			
トラップ探知	6	1D		6	+ 3 d				
トラップ解除	6			6	+ 2 d				
危険感知	6	1D		6	+ 3 d				
エネミー識別	2			2	+ 2 d				
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d				
魔術判定					+ d				
呪歌判定	4			4	+ d				
錬金術判定					+ d				

現在重量：

0

最大重量：

9

所持金：

4490

預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果：武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SL×2]								
アームズマスタリー：短剣	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果：短剣使用時命中+1D(シナリオ補正 判定-2)								
アンビテクスタビリティ	★	-	パッシヴ	-	自身	-	短剣鞭	
効果：右手左手の武器のステータスを統合し双とする								
スペシャライズ：短剣	5	-	パッシヴ	-	自身	-	選択武器	
効果：選択武器使用時命中+SLダメージ+SL								
ウェポンフォーカス	★		パッシヴ	-	自身	-	-	
効果：スペシャライズ選択武器ダメージ+5								
バタフライダンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果：回避判定+1D								
インタラプト	★	-	効果参照	視界	単体	自動成功	シナ1	
効果：タイミングパッシブアイテム以外のスキル使用宣言時そのスキルを無効化								
ナイフパリー	★	3	DR直後	-	自身	自動成功	短剣双・防衛中1回	
効果：物理ダメージ軽減・武器攻撃力合計マイナスする。								
インベナム	1	6	効果参照	-	自身	自動成功	-	
効果：攻撃と同時に使用、その攻撃で1点でも与えた場合対対象に毒SLを与える。								
ステップ：ファイア	3	4	セットアップ	-	自身	自動成功	-	
効果：ダメージ+SL*3 シン終了まで持続								
ステップ：ダーク	2	4	セットアップ	-	自身	自動成功	-	
効果：回避判定+SL*2 シン終了まで持続								
バトルステップ	3	-	パッシヴ	-	自身	-	ステップ効果中	
効果：命中+SL・回避+SL・ダメージ+SL								
ダンシングヒーロー	★	-	判定直前	-	自身	自動成功	シン1	
効果：判定+1D								
レイザーシャープ	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果：武器攻撃+1D								

ソードブレイカー
ストームナイフLv6短剣
グリーンベレー
踊り子の衣装
ファインバックラー
セブントブ

「明日へ向かって歩みだす…そのために一歩踏み出したんだ。」
「始まりは成り行きだった、でももうこの道はあたしの道だ…立ち塞がるなら容赦はしないよ！！」

ベルミラ（Belmira）
旅の一座に生まれた少女、一座は町々を巡りながら興行を行って生計を立てていた。
そこで生まれた彼女は一座の踊り子としてエリンディル西方の各地で舞い踊っていた。
少女だった彼女は知らなかったが、その一座の裏の顔は悪事に手を染める犯罪組織だった。
要人の屋敷から宝を盗んだり、秘密を調べそれを他人へ売り渡したり。
依頼を受け仕事をこなすこともあった。

虎の尾を踏んでしまったのだろうか
ある日、一座は謎の襲撃を受け壊滅する。
両親は今際の際にあるものを少女へ託した、それは『鍵』だという。
襲撃してきたのは何者なのか、いったい何が起きているのか全く分からなかったがベルミラは命からがら逃げ延びた。
分からないことだらけだったが、1つ確かなことがある。

ベルミラ

[illegible][illegible]